

2010年11月18日（木）東京新聞 TOKYO Web 埼玉 に掲載されました。

東京新聞 TOKYO Web

住まいを **買いたい** **売りたい** **住み替えたい**
お住み替えのご相談は **住友林業ホームサービス** まで

ホーム | 社会 | 政治 | 経済 | 国際 | スポーツ | 芸能 | 東京情報 | 社説・コラム | 天気 | 囲碁・将棋 | 特報 | TOKYO発 | 核心

東京 | 神奈川 | 千葉 | 埼玉 | 茨城 | 栃木 | 群馬 | 暮らし・健康 | 教育 | 科学 | クルマ | イベント

F1・F0東京・大リーグ・F0野
東京中日スポ

トップ > 埼玉 > 11月18日の記事一覧

【埼玉】

「ねぎサミット」in深谷 全国10産地集う

ネギ生産量全国1位の深谷市が、各地の特徴あるネギ産地に呼び掛け、20、21日、同市上野台の市総合体育館と仙元山公園で初めて「全国ねぎサミット」を開く。地元の深谷ねぎをはじめ、8都県の10産地の関係者が集い、来場者に試食してもらいPRする。(11月18日) [記事全文へ](#)

【写真】全国ねぎサミットに参加する10産地(深谷市パンフレットから)



記事全文

【埼玉】

「ねぎサミット」in深谷 全国10産地集う

2010年11月18日

ネギ生産量全国1位の深谷市が、各地の特徴あるネギ産地に呼び掛け、20、21日、同市上野台の市総合体育館と仙元山公園で初めて「全国ねぎサミット」を開く。地元の深谷ねぎをはじめ、8都県の10産地の関係者が集い、来場者に試食してもらいPRする。市場ではライバル関係の産地同士だが、価格の安い中国産ネギの輸入が増える中、連携して消費者に国内産ネギの奥深さを知ってもらい、ブランド化を目指したい思いもある。

(ほかに参加する産地は、九条ねぎ(京都市)、下仁田ねぎ(群馬県下仁田町)、やわ肌ねぎ(新潟市)、岩槻ねぎ(さいたま市)など。

深谷市の深谷ねぎは年間生産量が2万7790トン(2006年度農林水産省調査)で全国一を誇るが、出荷先は東京を中心とした関東がほとんど。関西以西は深谷ねぎのような白ネギより、緑の葉を食べる青ネギが好まれ、なかなか全国区でおいしさを分かってもらえないという。

関西や他の地方のネギにとっても事情は同じ。さらに、最近では中国産の価格の安いネギの輸入が増えており、ブランド力をつけて差別化を図ることが国産ネギ共通の課題だ。

深谷市の小島進市長は「TPP(環太平洋連携協定)への参加も言われている。国内での競争は激しくなるだろうが、サミットを契機に知名度を高め、将来、中国へ高級野菜として輸出できる環境づくりにつなげたい」と話す。

同市の呼び掛けに応じてサミット参加を決めた各地とも積極的といい、岩槻ねぎ関係者は「ほかの産地に負けぬよう『岩槻ねぎ、ここにあり』を示したい。今は生産量も少ないが、岩槻ブランドを確立したい」と意気込みを語る。

サミットは深谷市産業祭のイベントとして行われる。各産地がブースを出してネギを販売したり、ネギのおいしさが際立つ料理を無料で試食してもらう。20日午後1時からは深谷、さいたま、越谷、茨城県坂東、新潟の5市の市長が、農業の将来について討論する。

問い合わせは、深谷市農業振興課＝電048(574)6648＝へ。(柏崎智子、前田朋子)



全国ねぎサミットに参加する10産地(深谷市パンフレットから)

この記事を印刷する